

救急搬送時に必要となる医療情報

1. 循環器疾患の救急搬送を受け入れる際に、病院として救急隊より提供してほしい情報（優先順位の高いものから5つ）

意識状態

血圧

心拍数

動脈血酸素飽和度

心電図所見

呼吸数を含む呼吸状態

2. 循環器疾患の救急搬送を受け入れて処置を行う際に、情報不足であれば処置が困難となる情報（事例を踏まえて）

DNR（急変時の心肺蘇生実施の可否）の状況

挿管するべきではない患者に挿管されることがある。

服用中の薬剤（ビグアナイド、抗血栓療法薬、など）

アレルギー情報

PCI（冠動脈疾患の治療）、ABL（不整脈のカテーテル治療）の既往歴

3. その他（救急搬送を受ける際に気になる事柄、医療情報連携に関する意見など）

直近の心電図、血液検査（貧血、腎機能）、かかりつけ医、に関する情報があればさらに対応しやすいです。

新県立病院に導入予定の電子カルテシステムの概要及び今後計画しているシステムの拡張性（現在仕様策定中）

1. 予算の制限から電子カルテ本体でできることは行い、たとえ便利であっても部門システムの導入は最低限にする予定。
2. 電子カルテ本体もできるだけ基本のものを導入しオプション機能は、可能な限り導入しない。
3. 地域医療ネットワークの導入は開院時には考えていない。